

I. 終わりの日には困難な時代が来る テモテII 3・1～5

教会（信者の群れ）の背教

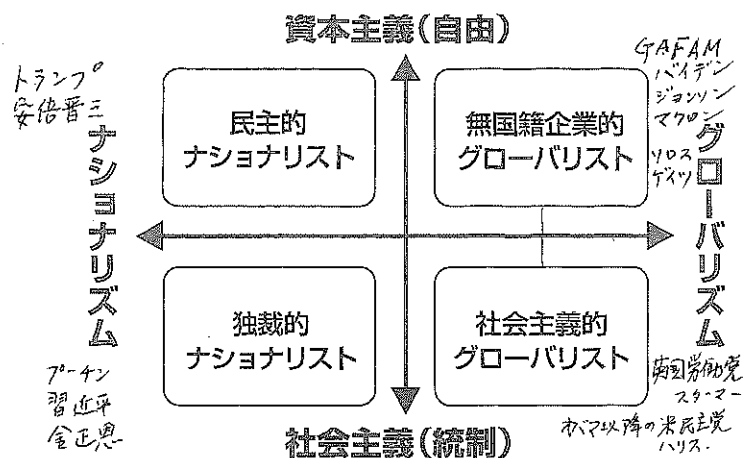
- ①自分だけ、金銭、快楽を愛する
- ②神を冒瀆する（大言壮語、高ぶり、善を好まない）
- ③隣人への悪、罪（両親への不従順、恩知らず、汚れた者、情け知らず、裏切り、中傷、自制できない、向こう見ず、思い上がり、粗暴

見かけは敬虔、中身は不敬虔

行き過ぎた自己愛、金銭や物質への執着 ⇒ 神をないがしろにする ⇒ 隣人への無関心、理不尽、攻撃、

II. 世界の現状

世界の政治勢力はこの4つに分類される



藤井厳喜著

「フォーキャスト2025」

p51

III. 聖徒たちの終末 = 救いの完成

ペテロI 1・3～4

(1)生ける望みを持つ者にしてくださった

神（父）の大いなるあわれみ

イエス・キリストの死からの復活＝信者も復活するという保証

たましいの新生

+

身体の復活

主を信じ、告白した時

携挙の時

(2)不朽不滅の資産（天の御国）の相続者とされている：キリストとの共同相続人

(3)現在、信仰により、神の御力により守られている

(4)終わりの時に、用意されている救いをいただく

ゴールは御国、すべての行程には神の守り、約束されている救いは確実

ゆえに、旅の途上にあるこの世の聖徒たちは、現実から目をそむけず、目は天を見上げつつ、足は地につけて、この世で与えられた歩みを完うしよう